

目標達成計画

作成日：平成 28 年 9 月 4日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	「理念の共有と実践」について、日々の業務における職員の意識高揚と業務への反映について、改善すべき点がある。	事業所の理念の共有ができるよう、日々の業務で確認できる方法を取り入れる。	事業所の理念を、毎朝のミーティングの申し送りメモに印字し、毎朝その理念を読み上げる。	0.5ヶ月
2	4	運営推進会議を活かした取り組みについて、会議を意味のあるものにするために内容を見直す。	地域福祉関係者や利用者様のご家族からの意見の取り入れを積極的に行い、介護サービスの拡充につなげる。	「ヒヤリハット」や「事故報告書」お内容を運営推進会議で公表し、どのようにして再発防止にむけて取り組んでいるかなどを情報開示する。またご家族には定期的にアンケートを実施し、その回答を業務に活かす。	1ヶ月
3	26	チームで作る介護計画とモニタリングのレベル向上	短期目標を明確にし、毎月モニタリングを実施する。	計画作成担当者が中心になり、利用者様のADLの変化などの管理をきめ細かく行い、課題分析をユニット会議等で確認する。	1ヶ月
4	33	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援について、ご家族との意識共有や職員の方針の徹底が不十分である。	重度化した場合や終末期のあり方についての方針を共有していく。	社内研修を通じて終末期対応について勉強するとともに、医療連携体制の構築とご家族への説明や同意などの協力体制を構築できるよう働きかける。	6ヶ月
5	35	災害対策についての知識や対応マニュアルのレベルアップの必要性がある。	地震・火災・洪水などを想定した訓練や夜間を想定しての訓練など、組織として現実的な対応力を身につける。	防災全般に関する社内研修会を実施。あわせて避難訓練や消火器を使つての訓練を年4回実施する。	3ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。